

新宮山彦ぐるーぷ第2355回

行仙宿から21世紀の森の巡回整備

◇実施日 3月23日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、湯川一郎、阪口雄二、小山益生、

梶野照雄、高橋桂太、今井泰男 8名

前回の玉置山↓21世紀の森に続き、今回は行仙宿から21世紀の森と少し距離がある。しかし湯川君が東屋岳から21世紀の森間を引き受けてくれたおかげで行仙宿から東屋岳、R425のルートをとることができた。

去年までは自由参加で受け付けていたが、皆さん年を重ねてきたので年齢のリスクを考え、春季巡視は今年から参加者を絞って実施することにした。その結果7人の精鋭部隊となった。

今日は熊野修験から初参加の小山さんと、飛び入りで参加された横浜市の中井さんが加わった。

当日、沖崎、阪口、湯川の3車に6人が乗りこみ、まず21世紀の森に湯川車をデポしR425の東屋岳登山口に向かった。登山口には昨夜下北山スポーツ公園泊の梶野君が待機していて合流。湯川君が単独で東屋岳に登っていくのを見送り、3台で行仙宿登山口に向かった。高橋君には先に行仙宿に行きそこで待つよう伝えていて、登山口には彼の車が停められていた。

児嶋、梶野がモノレールで、残りの中井、阪口、小山の3名は歩いて行仙宿に向かった。モノレールが無人で降りてくるまでの間、登

山口周辺の片付けなどを行う。モノレールは片道15分程なので降りてくるまでに30分はあるので片付けには十分な時間だ。

村吉さんが金曜日から一人で持経宿に入って作業してくれていた、何か手伝うことがあるかと思い白谷林道経由で持経宿に向かった。村吉さんの情報で白谷林道は重機が入って整備してあるそうだが、走ってみると路面は荒れ気味で5、6回車を停めて落石を取り除いた。持経宿まであと2km位、平治谷近くまで来てパンクだ。

肩、腰、膝が痛く、タイヤ交換に30分ほどかかってしまった。ようやく持経宿に着いて、杉本さんから寄贈された毛布10枚、ミカンの枝のマキ材を小屋に運ぶ。毛布の入れ替えや小屋内外の整理などを二人で行った。村吉さんは今日が3日目、最後に清掃、片付けを行ってくれていた。昨日平治宿に行く予定だったが、あまりにも風が強くなり中止して、ずっと持経宿に居たようだ。

東屋岳の登山口に午後2時頃に着きたいので、午後1時に持経宿出発、午後2時過ぎに登山口に着いた。午後3時には下山すると思っていたが、全員が下山したのは午後4時過ぎだった。

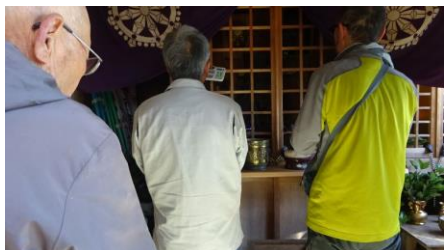
少々遅くなったが、全員無事。トラブルや道中に異常がなかったとこのことでヤレヤレだ。

(記：沖崎)

【行仙宿から東屋岳】

持経宿に行って村吉さんの手伝いをする沖崎さんを残して、午前8時40分にモノレールで登り始めた。終点に着き、無人で搬器を降ろす。行仙宿に着いて、お堂で勤行の後出発する。笠捨山の捲道分岐で高橋君が「山頂を経由したい」というので、一人山頂経由で歩いてもらった。5人で捲道を進むが、全く異常は無い。落ちてい

る枯れ枝を除けながら24番鉄塔先のベンチで一休み。捲道は北側斜面なので部分的に雪が残っていた。



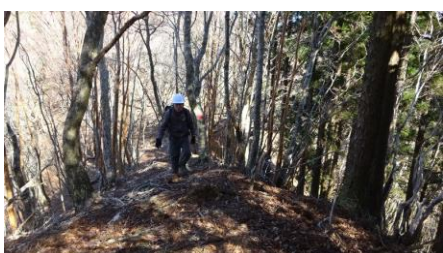
行仙宿に向かう

お堂で勤行

支障木を切除

支障木を5本ほど排除し、登山道中央の石を除けたりしながら2時間掛かって西側の分岐に着いた。高橋君の姿が見えないので、到着するのを待っていると逆方向から鈴の音が聞こえて高橋君が現れた。待ち合わせ場所を間違えたかと思いい次の鉄塔まで行ったそうだった。全員揃ったので26番鉄塔まで行き昼食を摂った。食後はコジマカフェが開店、暖かいコーヒーをごちそうになった。地蔵岳山頂経由班を見嶋、阪口、高橋の3名で。捲道経由を梶野、小山、今井の3枚が担当した。山頂経由班は設置してあるクサリの点検、捲道班は倒木処理と登山道の点検を行った。捲道に入っすぐ、27番鉄塔付近は線下伐採がされ、以前は見えなかった鉄塔基部がよく見えるようになった。45分で奥駈道に復帰し、山頂経由班を待つ。かなり

長い時間話をしながら待つてようやく声が聞こえだした。

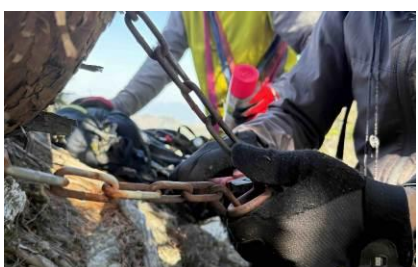


本日の参加者

地蔵岳班を待つ

地蔵岳班到着

声が聞こえてから姿が見えるまでも10分ほどあって、山頂経由班が着いたのは1時間10分後だった。



地蔵岳付近のクサリ点検

四阿之宿まで進んで休憩、沖崎さんに無線で現在地を伝えた。東屋

岳を通過してR425へ下る。



四阿之宿で休憩

もうすぐ国道

R425で

途中で一度休み、一時間で沖崎さんの待つ国道に着いた。沖崎さんとはここで別れ、行仙宿登山口に車がある阪口、小山、高橋の3名を乗せて登山口に向かい登山口で解散した。R425は小川の西側で通行止めが続いているため、通行車両は無いと思っていたが、後ろから2輪車が3台も来たのには驚いた。

(記：梶野)

行動タイム

08:25 補給路登山口→09:15 行仙宿 09:22→09:31 笠捨山捲道分岐→10:19 24番鉄塔ベンチ→11:40 西側分岐→12:13 26番鉄塔・昼食 12:48→13:34 捲道経由、奥駈道 14:41→15:02 四阿之宿→16:03 R425→16:40 補給路登山口

【東屋岳から21世紀の森】

東屋岳登山口からの道は昨年とほぼ同じ状況で、枯れ枝を踏んで登った。東屋岳からいったん下り、香精山手前の展望地から笠捨山方面を見ると、昨年と同様に黄砂なのか分からないが、すつきりとはしない青空だ。



東屋岳へ向かう

倒れ掛かった木

テープの先に倒木

道中枯れ枝を手で払いながら進んでいたが、押返しから檜之宿跡迄の間に倒木予備軍が2本あり、最初の1本目は大きく、いずれ道を塞いでしまうことになりそうだ。また、香精山のすぐ先の尾根上で、赤テープ沿いに進むと倒木に行き当たった。テープがなくても迷う場所でもないの、いったん赤テープをはがしつつ戻った。その後は淡々と下るだけで、昨年とほぼ同じ時間に21世紀の森に下り立った。

(記：湯川)

行動タイム

東屋岳登山口 7:58→9:25 東屋岳 9:26→10:12 香精山 10:13→
11:03 塔ノ谷峠 11:03→11:44 古屋の辻 11:45→12:07 21世紀
の森